

## 生物生産学専攻

生物生産学専攻は、農学、林学、畜産学に自然生態学カテゴリーを加え、生物の多様性の保全を含めた生物生産に係わる資源開発ならびに環境共生など、21世紀の生物産業が担う新しい側面を視野に入れた学部の教育研究理念を基盤にしている。その専門領域知識および研究内容をさらに高度に発展・継承させるべく、本専攻では、植物資源生産と動物資源生産学を主軸として食料、バイオテクノロジー、環境、健康、生理・生態、資源利用と保護、エコロジー等の様々な生物産業分野の発展に寄与する高度な専門的職業人を養成するとともに、この分野での卓越した研究者となる人材を養成する。

本専攻は2つの分野からなる。植物資源生産学分野では、オホーツク圏の作物生産現場で直面している地域間生産力格差、森林湿原の保全と生物生産との調和及びバイオテクノロジーを用いた分子育種技術など様々な課題について植物資源生産学特論、同実験を主軸にして専門的に教授し、高い専門能力を獲得させるべく研鑽させる。また、動物資源生産学分野では、動物の遺伝的評価と動物遺伝資源の保全、新規産業動物の生産と管理法及び発生工学による動物増殖など、動物資源生産学特論と同実験を柱として様々な角度から専門知識と技術を研鑽する。両分野に共通して、研究課題の選定から研究計画の立案、実験や調査研究の実施、得られた結果に対する議論と考察、文献探索などを実践し、その過程において修士論文の執筆と発表を行う特別総合実験を必修科目として配置している。各自の専門性を高めるだけでなく、幅広い知識を身につけるためにも積極的に選択科目を履修してほしい。

## 生物生産学専攻

頁	科目区分	開講番号	科目名	区分	単位	教職	担当教員(○は指導(准)教授)				
38	研究科目	MO181001	生物生産学特別総合実験	必	10	必	○小栗 秀/生物生産学専攻全指導(准)教授				
38		MO182002	植物資源生産学特論実験(一)	選必	2	選必1	○博士(農学) 吉田 徳積 教授	○博士(生物産業学) 伊藤 博武 教授	○博士(農学) 中丸 康夫 教授	○博士(農学) 中村 隆俊 准教授	博士(農学) 笠島 真也 准教授
39		MO182004	植物資源生産学特論実験(二)	選必	2	選必1	○博士(学術) 小栗 秀 教授	○博士(農学) 中村 隆俊 准教授	博士(理学) 坂本 光 准教授		
39		MO182006	動物資源生産学特論実験(一)	選必	2	選必1	○博士(生物産業学) 亀山 祐一 教授	○博士(生物産業学) 和田 健太 教授	博士(生物産業学) 下井 岳 准教授		
40		MO182008	動物資源生産学特論実験(二)	選必	2	選必1	○博士(生物産業学) 相馬 幸作 教授	○博士(獣医学) 平山 博樹 教授	博士(地球環境科学) 白木 彩子 准教授	博士(獣医学) 大久保 倫子 助教	
40	専攻基礎科目	MO182001	植物資源生産学特論(一)	選必	2	選必1	○博士(農学) 吉田 徳積 教授	○博士(生物産業学) 伊藤 博武 教授	○博士(農学) 中村 隆俊 准教授		
41		MO182003	植物資源生産学特論(二)	選必	2	選必1	○博士(学術) 小栗 秀 教授	○博士(農学) 中丸 康夫 教授	○博士(農学) 中村 隆俊 准教授		
41		MO182005	動物資源生産学特論(一)	選必	2	選必1	○博士(生物産業学) 亀山 祐一 教授	○博士(生物産業学) 和田 健太 教授			
42		MO182007	動物資源生産学特論(二)	選必	2	選必1	○博士(生物産業学) 相馬 幸作 教授	○博士(獣医学) 平山 博樹 教授			
42		MO183001	植物バイオテクノロジー特論	選	2	選必2	○博士(学術) 小栗 秀 教授	博士(理学) 坂本 光 准教授			
43		MO183002	作物生産管理学特論	選	2	選必2	○博士(農学) 吉田 徳積 教授	○博士(農学) 中丸 康夫 教授			
43		MO183003	植物資源保全学特論	選	2	選必2	○博士(農学) 中村 隆俊 准教授				
44		MO183004	食料生産学特論	選	2	選必2	○博士(生物産業学) 相馬 幸作 教授	○博士(生物産業学) 伊藤 博武 教授			
44		MO183005	動物資源管理学特論	選	2	選必2	○博士(獣医学) 平山 博樹 教授	博士(地球環境科学) 白木 彩子 准教授	博士(獣医学) 大久保 倫子 助教		
45		MO183006	細胞工学特論	選	2	選必2	○博士(生物産業学) 亀山 祐一 教授	○博士(学術) 小栗 秀 教授			
45	MO183007	動物生産管理学特論	選	2	選必2	○博士(生物産業学) 相馬 幸作 教授	○博士(獣医学) 平山 博樹 教授	博士(獣医学) 大久保 倫子 助教			
46	MO183008	保全生態学特論	選	2	選必2	○博士(農学) 中村 隆俊 准教授	博士(地球環境科学) 白木 彩子 准教授				
46	MO183009	動物バイオテクノロジー特論	選	2	選必2	博士(生物産業学) 下井 岳 准教授	○博士(生物産業学) 和田 健太 教授				
47	生物産業学研究科共通科目	MO183020	研究倫理と知的財産	選	2		○水産学博士 塩本 明弘 教授	博士(国際バイオビジネス) 吉永 貴大 講師			
47		MO183021	プレゼンテーション技術演習	選	2		○博士(生物産業学) 伊藤 博武 教授	博士(生物産業学) 下井 岳 准教授	博士(農学) 笠島 真也 准教授		
48		MO183022	学術論文作成法	選	2		○博士(農学) 中丸 康夫 教授	博士(理学) 坂本 光 准教授			
48		MO183023	特別認定	選	2		○小栗 秀/生物生産学専攻全指導(准)教授				

※教職は「選択必修1」より4科目8単位、「選択必修2」より3科目6単位以上修得すること。

### 【修了要件】

2年以上在学し、所定の授業科目について30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、当該研究科が行う修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

### 【履修方法】

必修科目10単位、選択必修科目8単位、選択科目12単位以上の合計30単位以上を修得すること。

## アクアバイオ学専攻

オホーツク海や沿岸海跡湖群より形成されるオホーツク水圏は豊かな水産資源を生み出している。またもともと低緯度で結氷する海域であり、地球環境の鏡とも目される地域でもある。アクアバイオ学専攻では、目の前に広がるオホーツク水圏での実践的教育・研究を通して、水圏資源の環境、生産、加工、流通・ビジネスを一連のプロセスとして学び、広い視野、創造性、柔軟性を養う。その上で、水圏環境学、水産生物学や水産増養殖学を基盤とした専攻分野において、専門性の高い指導的役割を担える人材の育成を目指す。

本専攻はオホーツク水産生物学専修とオホーツク水圏環境学専修のふたつの専修からなる。オホーツク水産生物学専修では、生態学、生理学、増養殖学などを始めとした最新の水産生物学に関する知識をオホーツク水産生物学特論と特論実験を柱として学び、水産資源の持続的利用を实践できる能力を身につけることを目標とする。オホーツク水圏環境学専修では、オホーツク水圏における水圏環境の動態と生態系の関わりを、オホーツク水圏環境学特論と特論実験を柱として配することで学び、水圏環境と生態系の保全に寄与できる能力を身につけることを目標とする。

2つの専修を通して、オホーツク水圏における水産資源の維持・管理・流通、増養殖、未利用資源の開発、水圏環境の保全に関する知識や実践的な技術を習得することを教育上の目的とする。

## アクアバイオ学専攻

頁	科目区分	開講番号	科目名	区分	単位	教職	担当教員(○は指導(准)教授)		
50	研究科目	MO211001	アクアバイオ学特別総合実験	必	10	必	○渡邊 研一/アクアバイオ学専攻全指導(准)教授		
50		MO212002	オホーツク水産生物学特論実験(一)	選必	2	選必1	○博士(水産科学) 千葉 晋 教授	博士(水産科学) 高橋 潤 准教授	
51		MO212004	オホーツク水産生物学特論実験(二)	選必	2	選必1	○水産学博士 渡邊 研一 教授	博士(海洋科学) 市川 卓 准教授	博士(水産科学) 山家 秀信 准教授
51		MO212006	オホーツク水圏環境学特論実験(一)	選必	2	選必1	○博士(学術 生物資源学) 西野 康人 教授	○博士(農学) 中川 至純 教授	
52		MO212008	オホーツク水圏環境学特論実験(二)	選必	2	選必1	○博士(獣医学) 小林 万里 教授	博士(工学) 朝隈 康司 准教授	
52	専修科目	MO212001	オホーツク水産生物学特論(一)	選必	2	選必1	○博士(水産科学) 千葉 晋 教授		
53		MO212003	オホーツク水産生物学特論(二)	選必	2	選必1	○水産学博士 渡邊 研一 教授		
53		MO212005	オホーツク水圏環境学特論(一)	選必	2	選必1	○博士(学術 生物資源学) 西野 康人 教授		
54		MO212007	オホーツク水圏環境学特論(二)	選必	2	選必1	○博士(獣医学) 小林 万里 教授		
54	攻科目	MO213001	水産増養殖学特論	選	2	選必2	博士(水産科学) 高橋 潤 准教授		
55		MO213002	水産生態学特論	選	2	選必2	○博士(水産科学) 千葉 晋 教授		
55		MO213003	水族繁殖学特論	選	2	選必2	博士(海洋科学) 市川 卓 准教授		
56		MO213004	水圏生物化学特論	選	2	選必2	博士(水産科学) 山家 秀信 准教授		
56		MO213005	氷海環境学特論	選	2	選必2	○博士(学術 生物資源学) 西野 康人 教授		
57		MO213006	氷海生態学特論	選	2	選必2	○博士(農学) 中川 至純 教授		
57		MO213007	水圏モニタリング特論	選	2	選必2	博士(工学) 朝隈 康司 准教授		
58		MO213008	水圏生物資源学特論	選	2	選必2	○博士(獣医学) 小林 万里 教授		
58	生物産業学研究科共通科目	MO213020	研究倫理と知的財産	選	2		○水産学博士 塩本 明弘 教授	博士(国際バイオビジネス) 吉永 貴大 講師	
59		MO213021	プレゼンテーション技術演習	選	2		○博士(学術 生物資源学) 西野 康人 教授	博士(水産科学) 高橋 潤 准助教	博士(工学) 朝隈 康司 准教授
59		MO213022	学術論文作成法	選	2		○博士(水産科学) 千葉 晋 教授	博士(海洋科学) 市川 卓 准教授	博士(水産科学) 山家 秀信 准教授
60		MO213023	特別認定	選	2		○渡邊 研一/アクアバイオ学専攻全指導(准)教授		

※教職は「選択必修1」より4科目8単位、「選択必修2」より3科目6単位以上修得すること。

### 【修了要件】

2年以上在学し、所定の授業科目について30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、当該研究科が行う修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

### 【履修方法】

必修科目10単位、選択必修科目8単位、選択科目12単位以上の合計30単位以上を修得すること。

## 食品香粧学専攻

食品香粧学専攻は、生物資源の機能性、微生物利用から、食品・香粧品の保蔵、安全管理、製造加工まで、食と香粧品の入り口から出口までを教育研究対象とし、国民の食生活と健康の増進に携わる指導的人材の育成を目指す。バイオテクノロジー分野では、食品・香粧品の機能や安全にかかわる有機化合物、遺伝子、タンパク質、微生物を対象とした化学的・生物学的研究を行い、食と健康を支える基礎的研究能力を養う。食品資源利用学分野では、農水産資源の利用法と加工製造、品質管理の実践的研究を行い、食香粧素材に精通し製品開発を企画管理できる能力を育成する。両分野において、食品・香粧品および関連する産業界で指導的役割を果たせる高い専門性を有した指導者、及び食品香粧科学分野の発展に貢献できる高度な研究開発力を有する人材を養成する。

食品香粧学専攻では、バイオテクノロジー分野において、食品や香粧品の機能性と安全性や品質管理に関わる先端科学の習得を目的として、遺伝子やタンパク質の機能解析、微生物機能の解析と利用、食品と香粧品機能分析に関わる理論と技術を、食品バイオサイエンス特論を柱として教授する。食品資源利用学分野では、オホーツクの農業・漁業から得られる1次産品を利用した食品加工、製造、開発技術の修得を目的として、未利用資源の有効活用のための技術や新規素材の開発についての理論教育を、実体験学習と食品資源利用学特論を柱として教授する。これらの研鑽を通じ、食生活と健康増進の分野における高い専門知識と研究開発能力を習得することを、教育研究上の目的とする。

## 食品香粧学専攻

頁	科目区分	開講番号	科目名	区分	単位	教職	担当教員(○は指導(准)教授)			
62	研究科目	MO191001	食品科学特別総合実験	必	10	必	○山崎 雅夫/食品香粧学専攻全指導(准)教授			
62		MO192002	食品資源利用学特論実験(一)	選必	2	選必1	○農学博士 佐藤 広頭 教授	○博士(農芸化学) 中澤 洋三 教授	○博士(農芸化学) 山崎 雅夫 教授	
63		MO192004	食品資源利用学特論実験(二)	選必	2	選必1	○博士(農芸化学) 山崎 雅夫 教授	○農学博士 佐藤 広頭 教授	○博士(農芸化学) 中澤 洋三 教授	
63		MO192006	食品バイオサイエンス特論実験(一)	選必	2	選必1	○博士(獣医学) 丹羽 光一 教授	○博士(生物産業学) 相根 義昌 教授	○博士(醸造学) 遠藤 明仁 教授	
64		MO192008	食品バイオサイエンス特論実験(二)	選必	2	選必1	○博士(農学) 妙田 貴生 教授	○博士(農学) 野島 聡 教授	○博士(環境共生学) 南 和広 教授	
64	専攻科目 特論科目 基礎科目	MO192001	食品資源利用学特論(一)	選必	2	選必1	○農学博士 佐藤 広頭 教授	○博士(農芸化学) 中澤 洋三 教授	○博士(農芸化学) 山崎 雅夫 教授	
65		MO192003	食品資源利用学特論(二)	選必	2	選必1	○博士(農芸化学) 中澤 洋三 教授	○農学博士 佐藤 広頭 教授	○博士(農芸化学) 山崎 雅夫 教授	
65		MO192005	食品バイオサイエンス特論(一)	選必	2	選必1	○博士(獣医学) 丹羽 光一 教授	○博士(醸造学) 遠藤 明仁 教授	○博士(生物産業学) 相根 義昌 教授	
66		MO192007	食品バイオサイエンス特論(二)	選必	2	選必1	○博士(農学) 妙田 貴生 教授	○博士(農学) 野島 聡 教授	○博士(環境共生学) 南 和広 教授	
66		MO193001	食品製造学特論	選	2	選必2	○農学博士 佐藤 広頭 教授	○博士(農芸化学) 中澤 洋三 教授	○博士(農芸化学) 山崎 雅夫 教授	
67		MO193002	食品加工学特論	選	2	選必2	○博士(農芸化学) 中澤 洋三 教授	○博士(農芸化学) 山崎 雅夫 教授	○農学博士 佐藤 広頭 教授	
67		MO193003	食品安全保蔵学特論	選	2	選必2	○博士(醸造学) 遠藤 明仁 教授			
68		MO193004	サーモエンジニアリング特論	選	2	選必2	○博士(農芸化学) 山崎 雅夫 教授	○博士(農芸化学) 中澤 洋三 教授		
68		MO193005	食品機能解析学特論	選	2	選必2	○博士(農学) 妙田 貴生 教授	○博士(農学) 野島 聡 教授		
69	MO193006	応用蛋白質化学特論	選	2	選必2	○博士(生物産業学) 相根 義昌 教授				
69	MO193007	微生物バイオテクノロジー特論	選	2	選必2	○博士(醸造学) 遠藤 明仁 教授				
70	MO193008	細胞生理学特論	選	2	選必2	○博士(獣医学) 丹羽 光一 教授				
70	MO193009	生物有機化学特論	選	2	選必2	○博士(農学) 野島 聡 教授	○博士(農学) 妙田 貴生 教授			
71	生物産業学研究科 共通科目	MO193020	研究倫理と知的財産	選	2		○水産学博士 塩本 明弘 教授	博士(国際バイオビジネス) 吉永 貴大 講師		
71		MO193021	プレゼンテーション技術演習	選	2		○博士(環境共生学) 南 和広 教授	○農学博士 佐藤 広頭 教授	○博士(農学) 野島 聡 教授	○博士(農芸化学) 山崎 雅夫 教授
72		MO193022	学術論文作成法	選	2		○博士(獣医学) 丹羽 光一 教授	○博士(醸造学) 遠藤 明仁 教授	○博士(生物産業学) 相根 義昌 教授	○博士(農芸化学) 中澤 洋三 教授
72		MO193023	特別認定	選	2		○山崎 雅夫/食品香粧学専攻全指導(准)教授			

※教職は「選択必修1」より4科目8単位、「選択必修2」より3科目6単位以上修得すること。

### 【修了要件】

2年以上在学し、所定の授業科目について30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、当該研究科が行う修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

### 【履修方法】

必修科目10単位、選択必修科目8単位、選択科目12単位以上の合計30単位以上を修得すること。

## 産業経営学専攻

産業経営学専攻では、学部教育で目指した地域生物産業の発展を支える経営学・経済学の理念と支援手法を体系的に習得するとともに、地域資源を活用して多様な発展を遂げている地域業のマネジメントを経営学、財務管理、マーケティングならびに情報処理管理、農学等を統合した総合的な実学教育・研究を通して体系的に指導し、経営学、経済学の基礎的専門知識と多様な分析手法を習得し、地域生物産業ならびに関連産業・地域企業の持続的発展と総合的な問題解決力を備えた高度な専門職業人、経営コンサルタントならびに産業経営学の研究者を育成することをめざす。

産業経営学専攻は、地域生物産業の経営経済のメカニズムと組織論、そして地域環境管理のための学理と問題解決手法を学ぶ「産業経営経済学分野」と、生物資源と中心とした地域資源を活用する多様な地域企業の経営・財務管理理論、マーケティングと情報処理管理、そして新ビジネスの企業の学理と支援手法を学ぶ「地域企業マネジメント分野」の2つの分野を設置する。

産業経営経済学分野は、生物産業ならびに関連産業を取り巻く経済変動メカニズムを評価する経済学、そして地域産業経営のあり方を究明する経済学や産業組織論、地域資源や環境との共生をめざす環境経済学等、生物産業の持続的発展を支える経営学・経済学に関する理論ならびに実践的な分析手法を習得させることを教育研究上の目的とする。そのため、「産業経営経済学特論」を柱科目としながら、関連科目として「産業経営学特論」「環境経済学特論」などを配置する。

地域企業マネジメント分野は、地域産業を形成する生物産業である農業、林業、水産業を基本としながら、その付加価値拡大をめざす食品加工業、そして食と地域に賦在する豊かな自然環境・資源を活用したサービス業等の持続的発展を支える企業経営の理論と方法を習得させることを教育研究上の目的とする。そのため、「地域企業マネジメント特論」を柱科目とし、関連科目として「地域企業会計学特論」「地域企業情報管理特論」などを配置する。

## 産業経営学専攻

頁	科目区分	開講番号	科目名	区分	単位	教職	担当教員(○は指導(准)教授)			
74	研究科目	MO201001	産業経営学特別総合演習	必	6	必	○菅原 優/産業経営学専攻全指導(准)教授			
74		MO202002	産業経営経済学特論演習(一)	選必	4	選必1	○博士(工学) 松村 寛一郎 教授	○博士(農学) 笹木 潤 教授	○博士(農学) 菅原 優 教授	
75		MO202004	産業経営経済学特論演習(二)	選必	4	選必1	○博士(工学) 松村 寛一郎 教授	○博士(農学) 笹木 潤 教授	○博士(農学) 范 為仁 教授	
75		MO202006	地域企業マネジメント特論演習(一)	選必	4	選必1	○博士(工学) 松村 寛一郎 教授	○博士(経営学) 上田 智久 教授		
76		MO202008	地域企業マネジメント特論演習(二)	選必	4	選必1	○博士(農業経済学) 黒瀧 秀久 教授	○水産学博士 塩本 明弘 教授	○博士(国際関係学) 佐藤 史郎 准教授	
76	専攻科目	MO202001	産業経営経済学特論(一)	選必	2	選必1	○博士(工学) 松村 寛一郎 教授	○博士(農学) 笹木 潤 教授	○博士(農学) 菅原 優 教授	
77		MO202003	産業経営経済学特論(二)	選必	2	選必1	○博士(工学) 松村 寛一郎 教授	○博士(生物産業学) 宇仁 義和 教授	○博士(農学) 笹木 潤 教授	○博士(農学) 范 為仁 教授
77		MO202005	地域企業マネジメント特論(一)	選必	2	選必1	○博士(工学) 松村 寛一郎 教授	○博士(経営学) 上田 智久 教授		
78		MO202007	地域企業マネジメント特論(二)	選必	2	選必1	○博士(農業経済学) 黒瀧 秀久 教授	○水産学博士 塩本 明弘 教授	○博士(国際関係学) 佐藤 史郎 准教授	
78	基礎科目	MO203001	産業経営学特論	選	2	選必2	○博士(経営学) 上田 智久 教授	○博士(商学) 野村 比加留 准教授		
79		MO203002	地域企業経営史特論	選	2	選必2	○博士(農業経済学) 黒瀧 秀久 教授			
79		MO203003	地域企業マーケティング特論	選	2	選必2	○博士(商学) 野村 比加留 准教授			
80		MO203004	地域産業クラスター特論	選	2	選必2	○博士(農業経済学) 黒瀧 秀久 教授			
80		MO203005	環境経済学特論	選	2	選必2	○博士(農業経済学) 黒瀧 秀久 教授	○博士(生物産業学) 宇仁 義和 教授	○博士(農学) 菅原 優 教授	
81		MO203006	産業経済学特論	選	2	選必2	○博士(農学) 笹木 潤 教授			
81		MO203007	地域企業会計学特論	選	2	選必2	○博士(商学) 松村 広志 准教授			
82		MO203008	戦略市場計画特論	選	2	選必2	○博士(経営学) 上田 智久 教授	○博士(商学) 松村 広志 准教授		
82		MO203009	新事業開発特論	選	2	選必2	○博士(商学) 野村 比加留 准教授			
83		MO203010	地域企業情報管理特論	選	2	選必2	○博士(工学) 松村 寛一郎 教授			
83	生物産業学研究科共通科目	MO203020	研究倫理と知的財産	選	2		○水産学博士 塩本 明弘 教授	○博士(国際バイオビジネス) 吉永 貴大 講師		
84		MO203021	プレゼンテーション技術演習	選	2		○博士(工学) 松村 寛一郎 教授	○博士(農学) 菅原 優 教授	○博士(国際関係学) 佐藤 史郎 准教授	
84		MO203022	学術論文作成法	選	2		○博士(農学) 笹木 潤 教授	○博士(生物産業学) 宇仁 義和 教授	○博士(農学) 菅原 優 教授	○博士(国際関係学) 佐藤 史郎 准教授
85		MO203023	特別認定	選	2		○菅原 優/産業経営学専攻全指導(准)教授			

※教職は「選択必修1」より4科目8単位、「選択必修2」より3科目6単位以上修得すること。

### 【修了要件】

2年以上在学し、所定の授業科目について30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、当該研究科が行う修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

### 【履修方法】

必修科目6単位、選択必修科目12単位、選択科目12単位以上の合計30単位以上を修得すること。

## 生物産業学専攻

生物産業学専攻は、博士後期課程として、前期課程に配された「生物生産学専攻」「アクアバイオ学専攻」「食品香粧学専攻」「産業経営学専攻」の4専攻を統合した文理融合型の専門教育体系を敷いている。本専攻は、生態系の保全、農水産、加工開発、経営流通のいずれかの側面を深く掘り下げつつ、包括的な観点から生物産業の実践的な学術理論・技能を身に付けた指導的人材の養成を目的とする。本専攻には、農学分野と経営学分野がある。

農学分野は、博士後期課程として、前期課程に配された「生物生産学専攻」「アクアバイオ学専攻」「食品香粧学専攻」の3専攻を基盤とした専門教育体系を敷いている。本分野は、生態系の保全、農水産、加工開発のいずれかの側面を深く掘り下げつつ、包括的な観点から生物産業の実践的な学術理論・技能を身に付けた指導的人材の養成を目的とする。このため、本分野は、本学の教育理念「実学主義」に基づき、前期課程において学んだ生物産業学の根幹となる生産、加工を各専攻分野においてより高度に探求する専門科目の体系的な履修を通して、ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を身につけるため、研究指導科目「生物産業学特別総合実験」を必修としている。

経営学分野は、博士後期課程として、前期課程に配された「産業経営学専攻」を基盤とした専門教育体系を敷いている。本分野は、経営流通の側面を深く掘り下げつつ、包括的な観点から生物産業の実践的な学術理論・技能を身に付けた指導的人材の養成を目的とする。このため、本分野は、本学の教育理念「実学主義」に基づき、前期課程において学んだ生物産業学の根幹である流通・ビジネスにおいてより高度に探求する専門科目の体系的な履修を通して、ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を身につけるため、研究指導科目「生物産業学特別総合演習」を必修としている。

## 生物産業学専攻

頁	開講番号	科目名		区分	単位	担当教員(○は指導(准)教授)
87	DO003001	農学分野	生物産業学特別総合実験	選必	4	○吉田 穂積/生物産業学専攻農学分野全指導(准)教授
87	DO004001	経営学分野	生物産業学特別総合演習	選必	4	○吉田 穂積/生物産業学専攻経営学分野全指導(准)教授

### 【修了要件】

3年以上在学し、所定の授業科目について4単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、当該研究科が行う博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

### 【履修方法】

専攻する分野の選択必修科目4単位を修得すること。